

## 塩酸ピロヘプチン細粒 Piroheptine Hydrochloride Fine Granules

**溶出試験** 本品の表示量に従いピロヘプチン( $C_{22}H_{25}N$ )約 2 mg に対応する量を精密に量り、試験液に水 900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.45 $\mu$ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 15mL を除き、次のろ液 5mL を正確に量り、メタノール 5mL を正確に加えて、試料溶液とする。別に塩酸ピロヘプチン標準品を 105 で 3 時間乾燥し、その約 0.025g を精密に量り、メタノールに溶かし、正確に 100mL とする。この液 2mL を正確に量り、メタノールを加えて正確に 200mL とする。この液 5mL を正確に量り、水 5mL を正確に加えて、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液 50 $\mu$ L ずつを正確にとり、次の条件で液体クロマトグラフ法により試験を行い、ピロヘプチンのピーク面積  $A_T$  及び  $A_S$  を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

ピロヘプチン( $C_{22}H_{25}N$ )の表示量に対する溶出率 (%)

$$= \frac{W_S}{W_T} \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{1}{C} \times 9 \times 0.893$$

$W_S$  : 塩酸ピロヘプチン標準品の量 (mg)

$W_T$  : 塩酸ピロヘプチン細粒の秤取量 (g)

$C$  : 1g 中のピロヘプチン( $C_{22}H_{25}N$ ) の表示量 (mg)

### 試験条件

検出器：紫外吸光光度計 (測定波長：242nm)

カラム：内径 4.6mm、長さ 15cm のステンレス管に 5 $\mu$ m の液体クロマトグラフ用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度：25 付近の一定温度

移動相：過塩素酸ナトリウム 14.0g を水 400mL に溶かし、薄めた過塩素酸 (17 2000) 5mL 及びメタノール 600mL を加える。

流量：ピロヘプチンの保持時間が約 10 分になるように調整する。

### システム適合性

システムの性能：標準溶液 50 $\mu$ L につき、上記の条件で操作するとき、ピロヘプチンのピークの理論段数及びシンメトリー係数は、それぞれ 3000 段以上、1.5 以下である。

システムの再現性：標準溶液 50 $\mu$ L につき、上記の条件で試験を 6 回繰り返すとき、ピロヘプチンのピーク面積の相対標準偏差は 1.5% 以下である。

溶出規格

表示量*	規定時間	溶出率
20 mg/g	15 分	85% 以上

\*ピロヘプチンとして

塩酸ピロヘプチン標準品「塩酸ピロヘプチン」。ただし、乾燥したものを定量するとき、  
塩酸ピロヘプチン( $C_{22}H_{25}N \cdot HCl$ ) 99.0%以上を含むもの。

# 塩酸ピロヘプチン錠

## Piroheptine Hydrochloride Tablets

**溶出試験** 本品 1 個をとり、試験液に水 900mL を用い、溶出試験法第 2 法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験を開始し、規定時間後、溶出液 20mL 以上をとり、孔径 0.45 $\mu$ m 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 15mL を除き、次のろ液  $V$  mL を正確に量り、表示量に従い 1 mL 中にピロヘプチン ( $C_{22}H_{25}N$ ) 約 2.2 $\mu$ g を含む液となるように水を加えて正確に  $V'$  mL とする。この液 5mL を正確に量り、メタノール 5mL を正確に加えて、試料溶液とする。別に塩酸ピロヘプチン標準品を 105 で 3 時間乾燥し、その約 0.025g を精密に量り、メタノールに溶かし、正確に 100mL とする。この液 2mL を正確に量り、メタノールを加えて正確に 200mL とする。この液 5mL を正確に量り、水 5mL を正確に加えて、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液 50 $\mu$ L ずつを正確にとり、次の条件で液体クロマトグラフ法により試験を行い、ピロヘプチンのピーク面積  $A_T$  及び  $A_S$  を測定する。

本品が溶出規格を満たすときは適合とする。

ピロヘプチン( $C_{22}H_{25}N$ )の表示量に対する溶出率 (%)

$$= W_S \times \frac{A_T}{A_S} \times \frac{V'}{V} \times \frac{1}{C} \times 9 \times 0.893$$

$W_S$  : 塩酸ピロヘプチン標準品の量 (mg)

$C$  : 1 錠中のピロヘプチン( $C_{22}H_{25}N$ ) の表示量 (mg)

### 試験条件

検出器：紫外吸光光度計 (測定波長：242nm)

カラム：内径 4.6mm、長さ 15cm のステンレス管に 5 $\mu$ m の液体クロマトグラフ用オクタデシルシリル化シリカゲルを充てんする。

カラム温度：25 付近の一定温度

移動相：過塩素酸ナトリウム 14.0g を水 400mL に溶かし、薄めた過塩素酸 (17 2000) 5mL 及びメタノール 600mL を加える。

流量：ピロヘプチンの保持時間が約 10 分になるように調整する。

### システム適合性

システムの性能：標準溶液 50 $\mu$ L につき、上記の条件で操作するとき、ピロヘプチンのピークの理論段数及びシンメトリー係数は、それぞれ 3000 段以上、1.5 以下である。

システムの再現性：標準溶液 50 $\mu$ L につき、上記の条件で試験を 6 回繰り返すとき、ピロヘプチンのピーク面積の相対標準偏差は 1.5% 以下である。

### 溶出規格

表示量*	規定時間	溶出率
2 mg	15 分	80% 以上

\*ピロヘプチンとして

**塩酸ピロヘプチン標準品** 「塩酸ピロヘプチン」.ただし,乾燥したものを定量するとき,  
塩酸ピロヘプチン ( $C_{22}H_{25}N \cdot HCl$ ) 99.0% 以上を含むもの.